

3 キャリア教育を推進する教員の資質向上

キャリア教育の推進には、すべての教員が、キャリア教育のベースとなる児童生徒のキャリア発達や児童生徒を取り巻く社会環境の変化、さらに学校の教育活動全体を通して進められるキャリア教育の在り方などについて十分に理解を深めることが重要となります。その上で、教員一人一人の資質の向上が求められます。

例えば、一人一人の児童生徒のキャリア発達を促すキャリア教育においては、児童生徒一人一人を理解し、その変容を的確にとらえて発達を支援する「キャリア・カウンセリング」の知識・技能や、校外での体験活動の場面で、家庭、地域、企業、関係機関・団体の関係者と円滑に連携を進める際に不可欠な「コミュニケーション能力」の向上などがすべての教員に求められます。

さらに、キャリア教育の指導者的な立場の教員には、「プログラム開発・運営・評価能力」、「調整能力（コーディネーション能力）」、「指導・助言能力（インストラクション・コンサルテーション能力）」等が必要となります。

ポイント

- ① 教員がキャリア教育を十分に理解しているかを把握
- ② キャリア教育の理解を深めるための教員研修会の実施
- ③ カリキュラムの開発や家庭、地域、企業等との幅広い連携・協力関係をコーディネート（調整）する能力を身に付ける研修会の充実

手順及び留意点

1 教員のキャリア教育の本質的な理解に係る実態の把握

留意点

教員を対象としたキャリア教育に関するアンケートや研修会などを実施し、キャリア教育を十分に理解しているかどうかについて把握します。(※17)

資料

※17 P. 116, 117 No.17 教員対象アンケート例
(竹原高等学校)

2 キャリア教育の理解を深めるための教員研修会の実施

留意点

「1 教員のキャリア教育の本質的な理解に係る実態の把握」(P.23)の実態把握の結果を基に、すべての教員がキャリア教育の理解を深めることを目的とした校内研修会を計画的に開催します。

次のような観点を参考に研修会の内容をつくるのが大切です。

また、大学教授や指導主事、国の「キャリア教育を推進するための指導者の養成を目的とした研修」や県の「キャリア教育コーディネータセミナー」の受講者などを講師に招いて研修会を開催することが有効です。

- ・ キャリア教育についての理解の深化
- ・ キャリア教育の推進に必要な知識と基本的な能力の習得
- ・ 自校におけるキャリア教育の具体的な取組みとその評価
- ・ キャリア・カウンセリングに係る基礎的・基本的な知識や理解 等

3 カリキュラムの開発や関係機関等をコーディネート（調整）する能力を身に付ける研修会の実施

留意点

- (1) キャリア教育やキャリア・カウンセリングにかかわる基礎的・基本的な知識を身に付け、理解しているかどうかを、アンケート等を実施して確認します。
- (2) 学校全体で計画的、組織的にキャリア教育に取り組み、効果的にかつ円滑に実施することをねらいとして、「プログラム開発・運営・評価能力」、「調整能力（コーディネーション能力）」、「指導・助言能力（インストラクション・コンサルテーション能力）」を習得する研修会を実施します。

「2 キャリア教育の理解を深めるための教員研修会の実施」(P.23)の留意点と同じく研修会の開催においては、大学教授や指導主事等を講師に招いての研修会が有効です。

さらに、校種の異なる教員が合同で研修会を受講することで、研修内容を充実させたり、研修の効果を高めたりすることができます。